

「災害用コミュニケーションボード」趣意書

「セイフティーネットプロジェクト横浜」（以下、「S プロ横浜」）は、障害のある人が地域で安心して暮らせるよう、幅広い活動を行っています。

活動の一環として、災害用の「コミュニケーションボード」と避難場所のみなさまに向けた「チラシ」を作成しました。

誰でもが安心して暮らせる街づくりのために、多くの方々に活用いただけることを期待しています。みなさまのご理解とご協力をお願いします。

2020年5月

セイフティーネットプロジェクト横浜

■コミュニケーションボードとは

地域には様々な障害のある人が暮らしています。自閉症や知的障害がある人の中には、ことばだけでなく、わかりやすい絵記号や写真等を用いることで、コミュニケーションがスムーズになる人もいます。

S プロ横浜では、そうしたことを広く知ってもらい、コミュニケーションのバリアフリーを広げるため、これまでに「お店用」・「救急隊用」のコミュニケーションボードの作成および普及活動を行ってきました。

■「災害用コミュニケーションボード」と「チラシ」について

第3弾にあたる「災害用コミュニケーションボード」は、障害のある人が避難場所等で過ごす時に、周囲の人々と必要な情報をやり取りするための絵記号等を掲載しています。「チラシ」には避難場所等で周囲のみなさまにお願いしたいポイントを記載しました。防災訓練など、さまざまな場面でご利用ください。

また、S プロ横浜のホームページでは、コミュニケーションボード・カードを作ることができます。必要なイラストを選んで自由に組み合わせ、避難所の備品に追加してはいかがでしょうか。詳しくは、ホームページをご覧ください。

ホームページアドレス

<http://www.yokohamashakyo.jp/siencenter/safetynet/safetynet.html>

※「セイフティーネットプロジェクト横浜」で検索

■主催：「セイフティーネットプロジェクト横浜」

障害のある人が地域で安心して暮らしていくために、セイフティーネットをつくることを目的とし、2005年7月に発足。市内の15団体・機関で構成され、当事者や家族が、自分たちの出来ることから活動していくことを大切にしながら、さまざまな障害についての理解を進めていこうと活動している。

構成団体：横浜市身体障害者団体連合会、横浜市の障害者施策を考える連絡会、横浜市心身障害児者を守る会連盟、横浜障害児を守る連絡協議会、横浜市自閉症協会、横浜市精神障害者家族連合会、横浜知的障害関連施設協議会、横浜市障害者地域活動ホーム連絡会、横浜市障害者地域作業所連絡会、横浜市グループホーム連絡会、P & A研究会カナガワ、横浜市精神障害者地域生活支援連合会、障害者自立生活アシスタント連絡会、横浜市社会福祉協議会、横浜市協 力：（公財）明治安田こころの健康財団

■連絡先：（福）横浜市社会福祉協議会 障害者支援センター

〒231-8482 横浜市中区桜木町1-1 横浜市健康福祉総合センター9階 Tel 045-681-1211 Fax 045-680-1550

横浜市 健康福祉局 障害施策推進課

〒231-0005 横浜市中区本町6丁目50番地の10 Tel 045-671-3603 Fax 045-671-3566